

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・気温の上昇と共にソフトドリンク等の動きが良くなる。また、スポーツイベントが増えるため、それに伴う客数が増え、良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・地元料理等、特色あるメニュー作りを取り入れた結果、徐々にインターネット等で店を選んで来てくれる県外客が増えている。
	やや良くなる	百貨店（営業担当）	・夏物の需要が予測される。
		スーパー（店長）	・競合の状況次第でもあるが、客1人当たりの買上点数が上昇してきているため、やや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・4月に入ってから、天気の良い日の来客数や売上には目を見張るものがある。また、新商品に対する食い付き、飛び付きも大変良くなってきている。きめの細かい、大胆な提案の品ぞろえで攻めていきたい。
		コンビニ（経営者）	・ゴールデンウィークや夏に向けての天候、特に気温の上昇に伴い、コンビニの売上は例年上がっていく傾向にあるため、季節的な面を含めてある程度期待できる。
		コンビニ（経営者）	・当店は国道沿いにあるため、これから気温が上昇すれば客数が増えて良くなる。
		コンビニ（経営者）	・東日本大震災の自粛ムードからの脱却により、コンビニの週末の人の動き、消費動向は良くなる。当地域においては高速道路のインターチェンジの開設やアウトレットによって、近隣のコンビニは良くなる。
		コンビニ（店長）	・近隣神社の夏祭り等の季節なので、東日本大震災があった昨年と違って自粛ムードも無くなり、平年並みに活気が出ることを期待している。
		衣料品専門店（統括）	・気候も大分暖かくなってきて街の中を歩く人が目立つようになってきている。外に出て歩こうという気分は物が動く前兆とも言えるため、これからの期待できる。
		家電量販店（店長）	・7月のオリンピック関連でテレビやレコーダーに期待が持てる。また、情報関連で携帯端末のスマートフォンが好調に伸びそうである。
		家電量販店（店長）	・省エネやエコ商材の販売見込みができると思うため、やや良くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・エコカー補助金が早期に終了となりそうであり、駆け込み需要が考えられるため、やや良くなる。
		住関連専門店（仕入担当）	・様々な不安要素を抱えたままの消費行動は今後も継続するが、今年も節電の夏に向けた対策等、住関連品の需要は高まってくる。
		観光型ホテル（営業担当）	・当地域は季節による繁閑の差が激しいが、ようやく春からの観光シーズンに入り、この先の予約状況も悪くない。
		旅行代理店（経営者）	・東日本大震災の影響はやや薄らいできており、そろそろ客足の動きが伸びてくる。
		旅行代理店（所長）	・来月、東京スカイツリーの開業となるが、あるシンクタンクの調査によると、スカイツリー来訪者の10%が当地域を訪問すると想定している。楽観的な見方ではあるが、交通アクセスから考えて、少なくとも一昨年の数字を超えることは間違いない。
		旅行代理店（営業担当）	・国内では東京スカイツリーが開業し、海外ではオリンピックが開催され、旅行気運が盛り上がりを見せつつある。
		タクシー運転手	・ムード、景気感といったものが出てきている感じがするため、やや良くなる。
		通信会社（営業担当）	・ボーナス商戦での需要喚起で消費が高まり、季節的要因ではあるが、一時的に景気が高まる。
		遊園地（職員）	・新東名高速道路開通などアクセス面の充実や、オンシーズンを迎えることにより、今後の景気は良くなっていく。
		設計事務所（所長）	・ゴールデンウィークのキャンペーンを開催する予定で、ダイレクトメールや呼び込みを強化し、集客に結び付けている。今月より良くなるのが期待できそうである。
変わらない		商店街（代表者）	・やや良くなると言いたいですが、政策の不安定感が水を差し、見えない。
		商店街（代表者）	・新学期が始まり、クラブ活動もこれからぼつぼつ新クラブ員が入るため、ユニフォーム等いろいろな動きが出てくる。
		商店街（代表者）	・桜が咲き、気温が高くなって人が大分動いてきてはいるが、飲食店に入っても、今までのように団体客が減っているという答えが返ってくるため、変わらない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・現在、各地で歓送迎会がいろいろと開かれているが、参加者は以前より少なく感じる。ゴールデンウィークの予想も天気次第で、祭りの場所は元気だが、周りを取り残されている。

一般小売店〔家電〕 (経営者)	・季節の変わり目で、暑くなってくると夏物が出てくるため期待するが、客の動きがなかなか見えてこないため、心配している。
一般小売店〔家電〕 (経営者)	・商品の動きは相変わらず鈍いが、エコ、省エネなどを意識した商材に消費者の目がいくようになってきている。余分なものは購入しないが、売上増は期待できそうである。
百貨店(販売促進担当)	・3月を除くとここ数か月、前年比は大きく変わっていない。衣料品が売上の大半を占めるが、今後の気温の変化によって店全体の売上は上下しそうなものの、それ以外の大きな変化をもたらす要因が見当たらない。
百貨店(店長)	・政府や国内外の動きが不透明で、なかなか購買につながる切っ掛けがつかめていない。
百貨店(販売担当)	・今年も節電対策商材などが好調に推移することが予想されるが、今より景気が良くなる見込みが立たない。
スーパー(店長)	・客単価が横ばいであるため、変わらない。
スーパー(総務担当)	・消費税増税の議論、年金不安、円高の問題と一部の企業は持ち直し傾向にあるようだが、個人の収入が増加しないと景気は回復しない。
スーパー(統括)	・電気料金の値上げやガソリン、灯油、ガス等の燃料費の高値での推移に加えて、主原料、物流コスト、包装資材価格の高騰など不安要素はあるものの、来客数、客単価は順調な伸びを見せており、先行きに明るい兆しがある。
コンビニ(経営者)	・今の状態でいくと、競合店の進出が大きい。ここ1、2年の間に競合店が6店も開店しており、現在の売上を維持するのがやっとである。
衣料品専門店(店長)	・大変な円高は落ち着いてきたが、ガソリンや電気料金の値上げ等、燃料費の値上げが各商品やサービスに波及してくるため、景気が良くなる要素がない。
衣料品専門店(販売担当)	・客の様子からは幾分安定感が出てきたという印象を受けるが、今後良くなるという判断基準にはならない。背景として、安心して買物ができたり消費行動に移れるような、後押しできる材料がまだ見つかっていない。今幾分出てきた客の明るさが今後少しでも長続きしてくれれば、安定感は増してくる。
家電量販店(営業担当)	・夏のオリンピック商戦でテレビ、DVDレコーダー等の商品を拡大販売できるかである。
乗用車販売店(従業員)	・エコカー減税が続くため、堅調に推移する。
乗用車販売店(販売担当)	・ゴールデンウィークで観光客が盛り返して来るようになれば、多少景気が上向くのではないかと思う。一方、今、新聞雑誌等で、当地域の観光地の放射性物質の値が非常に高いといわれている。そのため、大して観光客が来ることが望めないため、このままで推移していく。
乗用車販売店(営業担当)	・販売、サービス共にユーザーが自動車に費用を少し多くかけるようになってきたが、利益が思うように上がらないため、変わらない。
乗用車販売店(管理担当)	・エコカー減税対象車の投入がなく、販売は苦戦する。
自動車備品販売店(経営者)	・増税の議論、電気料金の問題等、不安材料があり、身の回りの人があまり意欲的、積極的に感じられない傾向にある。
住関連専門店(統括)	・電力不足、増税、年金問題等の不安定要素があり、購買意欲が減退傾向にある。
一般レストラン(経営者)	・夏までは今月のような動きのままにいく。悪くなる要素はないが、良くなる要素もない。
一般レストラン(経営者)	・夏場に向けて動きは多くなると思うが、例年と比べれば相対的には変わらない。国内の政治不信や世界的な疲弊から、良くなる材料が見当たらない。
スナック(経営者)	・悪くなるということが変わらない。本当に悪く、困っている。
スナック(経営者)	・良くなるという感じはないが、これより下もないという感じである。どうしたらいいのかわからない。
都市型ホテル(スタッフ)	・依然として円高であり、輸出産業は非常に景気が悪いことも含め、消費税増税の議論や公務員の給与減など、様々な面で皆が自粛するため、しばらくの間、景気は変わらない。
旅行代理店(従業員)	・円高為替、株など、良くなる要因が見当たらない。
旅行代理店(副支店長)	・販売動向の先行きは前年度と変わらない状況が続いているため、変わらない。
旅行代理店(副支店長)	・旅行関係は秋以降に期待している。

通信会社（経営者）	・販売量が伸びているとはいえ、前年比では8割程度である。建設や事業所の受注は始まったが、中小企業や小売店に広報発注の動きは見られないのが実情であり、景気はまだまだ回復しない。	
通信会社（経営者）	・特に景気が上向くような要因が見当たらない。	
通信会社（販売担当）	・景気が良くなってきているように感じているが、原油価格の高騰や政治不安など先行きが不透明なため、すぐには上昇しない。	
通信会社（総務担当）	・景気の先行きが不透明である。	
通信会社（局長）	・天候、電力確保など予測が難しく、これらがどのように消費マインドに影響するのかが読めない。	
テーマパーク（職員）	・前年は東日本大震災の影響を大きく受けていたことから数字上は良く見えるが、前々年に比べると景気が良くない状態であるため、変わらない。	
ゴルフ場（副支配人）	・この先の予約状況を見ても、昨年より多く増えたなど大した変化はない。電気やガスなど、いろいろな公共料金等が値上がりになるため、特にそのあたりの負担が大きくなる。	
ゴルフ場（支配人）	・ゴールドenウィークの予約に関しては、ほとんど地元客に集中しており、県外からの来場者は非常に少ない。また、新年度になって料金体系が周辺コースも割引になっていることから、全体の売上を非常に圧迫している状況は変わらない。	
ゴルフ場（業務担当）	・今月は総体的な来場者は前年比で約5%減、売上は10%ほど減少している。土日の悪天候で売上が伸びなかったこともあるが、そのほかのショップ関係、売店の売上が奮わない。プレーには来てもらえるが用品関係の売上が奮わなかったため、総体的に単価が出ずに落ち込んでいる状況である。プレー本来の費用だけで、そのほかパーティー等、売店の売上、ショップ関係、用具、用品関係の売上が伴わないのが実情であり、2、3か月先もこのような傾向が続く。	
競輪場（職員）	・これまでの当場の発売額の変化と、他競技の競技もそれほど買上、発売額が伸びていないため、変わらない。	
その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・今年の年明けあたりと比べると、前月、今月共に客数、単価はまずまずの状態が増加傾向にある。今後は大きな変化に対する予測などもなく、ある程度このままでいく。悪くなることも考えられないが、あまり良くなるという要因も見当たらないため、このままの状態が変わらない。	
美容室（経営者）	・これからガソリン価格の値上げ、消費税増税の議論などがある。先日、電気料金値上げの説明会があったが、将来的に経費が大きく膨らんでくる予定であり、美容院の店舗では価格の転嫁ができなくなるため、それほど良くなるとは思えない。	
その他サービス [清掃] (所長)	・給料等が上がっていないため、大型連休等を控えているが、支出は抑える。大きな変化は期待できず、変化は見られない。	
設計事務所（経営者）	・電気料金の値上げ、原油価格高騰などの問題もあり、今後の状況が分からないなか、景気の回復にはまだまだ期間が必要である。	
設計事務所（所長）	・悪いままの状態、変わらない。今までがそうであるように、期待していないほうが良い。	
住宅販売会社（経営者）	・来客数と売上から、今の景気が良くなるとは思えない。	
住宅販売会社（従業員）	・円高、電力問題等の不安要素が大きい。東日本大震災の復興で職人、技術者が東北に集中し、北関東では技術者不足となり、施工が追い付かない状況が1～2年は続く。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・東日本大震災後1年が過ぎ、やっと気持ちにゆとりも戻って外に向けて行動すると思うが、ガソリン価格の高騰などで安く、近く、日帰りの旅行が多くなる。
一般小売店 [青果] (店長)	・当地域では、大手グループ会社が風邪をひくと町も風邪を引くというような状態になる。今、一部の会社でかなりリストラが行われており、その他でもリストラが始まるということである。かなりの買い控えや、消費意欲が冷え込むことになる。	
百貨店（総務担当）	・このところの株価の値下がりが見すように、黒星が多く、全体的に嫌気がさしている。それに伴って昇給もなく、電気料金の値上げや年金の減額など、景気向上の要因がないため、これではなかなか購買に結び付かない。	
百貨店（店長）	・欧州の信用不安、為替など外部環境に左右される状況は変わらず、原子力発電所の稼働問題も景気の足を引っ張る。	
スーパー（経営者）	・過当競争に陥っているため、やや悪くなる。	
コンビニ（店長）	・近所にもう一軒、今度は他系列で競合店が出てくるため、また若干悪くなるのではないかと懸念している。	

		乗用車販売店（販売担当）	・エコカー補助金が6月には終わってしまうのではないかと いう噂があるため、客は早め早めに来ている。景気は今より 悪くなり、販売も少なくなる。
		乗用車販売店（統括）	・新車販売はエコカー補助金が終了するため、受注が少なくな る。
		観光型旅館（経営者）	・当業界は斜陽産業であり、今後ますますニーズの減少が見 込まれるため、やや悪くなる。
		都市型ホテル（支配人）	・福島第一原子力発電所の事故の風評被害により、ゴールデン ウィーク及びそれ以降の予約が例年より減少している。
		都市型ホテル（営業担当）	・企業関係では特に電気料金の値上げがあり、個人について も同じような話や消費税増税の議論がある。そのため、いろ いろと経費を抑えようという一連の流れになり、個人の財布 のひもも固くなる傾向である。現時点では良くなる傾向は見 えず、やや悪くなる。
		タクシー（経営者）	・今年の1～4月はすべて前年同月比で減少しているため、 この先も悪くなる。
		その他サービス〔立体 駐車場〕（従業員）	・現在、当社で月極の契約は月に200件ほどあるが、そのう ち5%くらいの客が当社を解約し、他の駐車場へ移動するこ とが分かった。また、回数券の销售量、予約状況についても 伸び悩んでいるため、やや悪くなる。
		その他サービス 〔フィットネスクラ ブ〕（マネージャー）	・政局が不安定なため、やや悪くなる。
		設計事務所（所長）	・建築関係は前年度は東日本大震災対応としての耐震補強工 事や高齢者福祉施設予算が非常に多かったが、今年度はそれ らが縮小傾向にある。例年4月は年度初めでもあり少ない が、それにしても情報が少ないため、やや悪くなる。
		住宅販売会社（従業員）	・別荘の売却希望者が増加傾向にある。中古別荘は販売不振 により価格下落を招いているため、やや悪くなる。
		住宅販売会社（経営者）	・自動車はエコカー減税等で消費が良くなっているが、不動 産は地価の下落傾向がここ何年か続いており、一向に出口が 見えない。地価が上昇するような傾向でないと回復はない。
	悪くなる	一般小売店〔衣料〕 （経営者）	・当地域では多少、外国人観光客が多くなってきたように見 えるが、福島第一原子力発電所の事故の問題でかなり高い数 値になっているため、あまり良い状況ではなく、悪くなって いく感じがしている。
		一般小売店〔乳業〕 （経営者）	・夏に向けての節電等、経済的なマイナス要因が山積みであ り、今後すぐに改善するような要因は皆無である。
		衣料品専門店（経営者）	・東日本大震災の処理がなかなか進んでいない。
		高級レストラン（店 長）	・節約や低価格への意識が消費者に完全に定着しており、多 少景気が上向いたとしても消費にすぐ回ることではない。
企業 動向 関連	良くなる	その他製造業〔環境機 器〕（経営者）	・スプレー缶、ガス缶、ライターは不燃物処理の分類から可 燃性危険物として認識されるようになり、これらの処理装置 が環境装置として納入契約につながってきているため、良く なる。
	やや良くなる	食料品製造業（営業統 括）	・急激な伸びは期待できないが、徐々に見学者の増加が見ら れ、緩やかな景気回復が見込まれる。
		窯業・土石製品製造業 （経営者）	・特注品受注の動きは少ないながら、以前より増えてきてい る。体験工房がシーズンインを迎え、徐々に予約が増えてい る。
		一般機械器具製造業 （経理担当）	・受注内容が、電動工具以外でも少し増え、動き始めてい る。
		輸送用機械器具製造業 （経営者）	・5月は連休で10日ほど休みがあるため若干落ちるが、6月 以降はまた例年どおり、やや回復してくる。それ以降は少し 分からないが、2、3か月先までは良い。
		金融業（経営企画担 当）	・製造業については変わらないが、観光関連産業については 観光シーズンに向かうことから、今より良くなる。
	変わらない	化学工業（経営者）	・新年度になって東日本大震災関係の復興予算が出てくれ ば、今までよりは荷動きが良くなると期待している。
		窯業・土石製品製造業 （総務担当）	・厳しい状況は変わりなく続く。
		金属製品製造業（経営 者）	・不特定多数の得意先では細かい設備、食料品関係の設備や ゴンドラ関係の窓枠、窓の清掃器具など、設備に対する注文 が増えている。また、細かいところで一定量ではないが、い ろいろと仕事が出ているため、何とかやっている状況は変わ らない。
		一般機械器具製造業 （経営者）	・建設機械関連の仕事の回復も夏以降にずれ込む見込みであ り、全体的な仕事の戻りが遅れる。
		電気機械器具製造業 （経営者）	・確定した、安定した仕事は見込めないが、企業努力で維持 していくことができる。

	電気機械器具製造業（経営者）	・3、4月で在庫調整が一巡し、連休明けから増えてくることを願っているが、現在の受注状況では5月も低空飛行が続く。いつになったら回復するのか客とも話をしたが、厳しい状況が続くそうである。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・ジュエリーはしやし品であるため、株価の回復、政治の安定といった間接的要素に大きく左右される。東日本大震災のあった前年と比較すれば良いとはいえ、ジュエリー市場自体が良くなってきたかどうかは、数か月たたないと判断できない。
	輸送業（営業担当）	・現状は特に主だった荷動きは伸びそうにないが、都市直下型地震等の対応グッズや、災害予備グッズ等の動きは目立って多く、幅広く対応商材が出ており、物量も伸びている。また、夏場に向けて省エネ家電も伸びるが、業界的には燃料コストが高騰する状況で収益が少なく、厳しい状況が続く。
	通信業（経営者）	・変わる要素がない。
	金融業（調査担当）	・欧州の信用不安や原油価格の高止まりなど、海外の動向に左右される状況が続く。製造業は販売単価の低下と原油価格などコスト上昇との板ばさみが続く恐れがあり、厳しい環境に変化はない。
	広告代理店（営業担当）	・新年度がスタートしたが、宣伝予算規模は変わらない。地元企業の倒産の噂を頻繁に聞くようになったため、支払いの遅れなど、シビアに判断して取引をしていく必要がある。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・用紙などの資材問屋で在庫量が増加していると聞いている。仕入に時間が掛かる資材はあらかじめ顧客の様子を見ながら調整しているようだが、例年のような売上にはつながらず、購入中止や延期などが重なり、3割くらいの在庫増となっているようである。
	社会保険労務士	・新卒を採用した事業所のほとんどが欠員の穴埋めであり、売上が増加していく事業計画を持っている所は少数である状況は変わらない。
	経営コンサルタント	・消費者マインド次第とはいえ、観光関連、飲食業などで業績の改善が期待できる。
	司法書士	・先行きの新しい仕事の依頼が見当たらないため、今のまま推移していく。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・情報化投資は緩やかな回復傾向にあるが、大型投資が少なく、業務改善中心の小型投資が続く。
やや悪くなる	食料品製造業（経営者）	・欧州の信用不安、原油価格の高騰、電気料金値上げなどが日本経済全体にどう影響し、その後、個々の営業活動にどのような影響を与えるかと思うと、不安な要因が多い。
	食料品製造業（製造担当）	・夏場に向けて本格的に動き始めるとは思うが、価格帯が原料の上昇分を吸収していく状況にはない。新規参入の店もあり、低価格の競争があるため、厳しい。デフレからの脱却がない限り、中小零細の未来は開いていかない。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ペーパーレスへの移行など、印刷の仕事が減ってきている。相変わらずの価格競争などもあり、やや悪くなる。
	一般機械器具製造業（経営者）	・4～6月の3か月は10%下がることが決定したため、やや悪くなる。
	電気機械器具製造業（経営者）	・ゴールデンウィークの前でもあるが、客先の部品受入、倉庫の動きを見ると、購入部品の数量が少なくなっているようであるため、今後の当社の受注量に陰りが出てくるのが心配である。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・6月まではある程度仕事量を確保しているが、7月以降の見通しが非常に悪い。
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主力自動車メーカーからの受注量は、生産の3か月の見通し上では非常に高水準を維持しているが、ガスや燃料、ガソリンの価格も上がってきており、電気料金の値上げの問題等、コストが非常に負担になってきている。受注量が多くなっても収益は低下傾向に入ったと見ている。
	金融業（役員）	・夏が暑くなった場合、電力不足が予想される。また、原油価格がこのまま推移していくと、仕入高、燃料高で仕入が上がり、下げられない。給与所得等も会社の財務内容の改善があまりされておらず、現状維持が精一杯であるため、販売の需要が非常に低迷してくることになる。そう簡単には景気の回復は見込めない。
	不動産業（経営者）	・先行きへの不安があるため、設備機材への投資もはばかっている現状から、やや悪くなる。
悪くなる	建設業（総務担当）	・公共工事主体で土木、舗装工事を行っているが、現在は長期工事を2本受注しているため、運転資金が前払金だけでは動かないこともあり、今後の資金繰りが心配である。

		不動産業（管理担当）	・省エネ等で空調や照明機器を入れ替えた所もあるが、その操作や調整に時間が掛かったりするため、その分人件費が増えることが予想され、悪くなる。
雇用 関連	良くなる やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・春先の桜が当地域では1週間弱遅れていたため、春物商材等や新年度の建設、道路関連の工事等が動き始めた。電気自動車部品、携帯は依然として先行きが見込まれ、小売、サービス業は夏物が幾分早まるという期待から、上昇傾向となる。
		人材派遣会社（経営者）	・3～5月と売上が大きく伸び、当社では今のところ良いため、やや良くなる。
		職業安定所（職員）	・年度末において懸念された大規模人員整理もなく、求職者数はなだらかに減少を続けている。企業側の募集、採用意欲の向上が徐々に表れてくれば、雇用動向は明るくなっていく。
		職業安定所（職員）	・求人数は若干増えているが、零細、個人事業主からの提出が見られた。中小企業から零細企業に発注が出始めたのではないかと考えられるため、やや良くなる。
変わらない		人材派遣会社（営業担当）	・欧州の信用不安、株安傾向のため、変わらない。
		職業安定所（職員）	・原油価格の高騰が続いている。電力の安定供給ができるのかははっきりしないため、変わらない。
		職業安定所（職員）	・前年3月は東日本大震災の影響もあって求人数は前年比で増加しており、産業別では医療福祉、製造業、サービス業などで大幅に増加している。職種別で見ると、サービス業ではパート求人が65%と圧倒的に多い。また、一部の企業では震災後の処理などで仕事はあるが、まだ先が見えない様子であるなどの声もあるため、変わらない。
		職業安定所（職員）	・新規求人の全体の割合から、有期雇用求人が多いために求職者とのミスマッチがあり、今後2、3か月先も景気回復は見込めない。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・就職活動の状況は、ここ数年来、新規卒業者にとって非常に厳しい。福祉系の就職だけは例年どおり良好な様子だが、企業の求める人材と学校の教育内容、就職希望者の意識等、ミスマッチの部分の部分を少しでも埋めていかないと、就職は更に難しくなる。
	やや悪くなる	人材派遣会社（管理担当）	・製造派遣の契約見込が少ないため、やや悪くなる。
	悪くなる	—	—